

一般社団法人ここてらす令和4年度分の事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

【事業の目的】

当法人は個人や企業の皆様から多様な寄付を集め、人と人とながら安心して過ごせる居場所作りを行い、人・物・金・情報等の資産の循環を通して、社会的課題の解決や「一歩踏み出す人」をサポートする、「一人一人の今ここに寄り添う」一般社団法人である。

ひとり親や共働き世帯の増加に伴う子どもたちの孤立、コロナ禍における人間関係の疎遠化と孤立や、物価高騰による生活の困窮、地域力の低下による居場所の減少等の社会的課題を大人も子どもも共に抱えている。

このような状況に対応すべく、さまざまな資産の循環を起こす仕組みを作り、「居場所」や「人」をキーワードに地域でつながり、ひとり親や子どもたちの充実した生活と社会作りに寄与することを目的として以下の事業を行なった。

【事業内容】

- 1、子どもの居場所運営事業
- 2、親子イベントの実施
- 3、児童養護施設へのバースデーケーキ寄付

【事業の成果】

- ・以下の事業を実施した。
- 1、子供の居場所事業を4月1日より日本財団の助成金を活用し運営を行った。
佐賀未来創造基金と助成契約を結んだ。
- 2、子どもたちの経験不足を解消するためのイベントを年7回開催。
- 3、児童養護施設、洗心寮へバースデーケーキの寄付25回。

いつもありがとうございます/
令和4年度のご報告

昨年度は大変お世話になりました！
令和4年度には「子どもの居場所」の
開催が通算400回を突破しました！



飲食店の間借り営業や
お茶会などのご利用も増え、
にぎやかな一年でした。
より一層、地域の交流拠点として
ここてらすは精進していきます！

令和4年度は個人会員42名、法人会員8社にサポーターとなっただき、
約42万円の寄付をいただきました。
その他募金箱等への寄付も約25万円を頂戴いたしました。
これらの寄付はここてらすの家賃（96万円/年）に使用いたしました。

ここてらすは令和3年度から令和5年度まで
日本財団からの助成金を受けています。
家賃以外の運営費は助成金から捻出しています。

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

事業名	具体的な内容	A 当該事業の実施日時 B 当該事業の実施場所 C 従事者の人数	D 受益対象者の範囲 E 人数
子供の居場所運営事業	子供たちとの交流 食の提供 内1回はやんやんや様とコラボ開催。 開催場所：基山モール商店街	A 月、水、金 17時30分から20時まで R4年度開所日数 132回 B 主たる事務所 C 1～5人	D 基山町とその周辺地域 E 1日、5～10人
体験イベント	・机づくりワークショップ 5/4 ・るーこぼんのお話会 6/17 ・おっちーと話そう 7/10 ・七夕イベント 7/6 ・クラフトコーラ作り 8/21 ・そうめん流し 8/28 ・あそんでおどってアッハッハ！ 3/23	A 左に記入 B 主たる事務所 基山っ子みらい館 モール商店街 C 2～6人	D 基山町とその周辺地域 E 1イベント、5～30人
児童養護施設へのバースデーケーキ寄付やイベントの開催	センター薬局様とばるっこ様ココパーツ様からの協賛をいただき、洗心寮へケーキのプレゼントを行った。	A 施設の子の誕生 B 洗心寮 C 1～3	D 洗心寮入寮者 E 25回

【メディア掲載、イベント登壇等】

・メディア掲載

サガテレビ 波田陽区のさがん町珍道中 1/23

・イベント登壇

佐賀市民生委員の研修会に子どもの居場所について講話 7/28

地域でつながるCSO交流会にて登壇 11/22

子どもの居場所なんでも相談会にて事例共有 1/13

